

地域コミュニティの情報化推進及び普及

1. 事業目的・・・IT利活用による地域情報化に関する調査・研究

- ・地域の情報通信基盤を活用し、自治体や地域の商工業団体、企業等が情報技術を利用し、地域の課題・問題点を解決するための地域情報システムの調査・研究事業
- ・IT利活用の促進と地域の住民・企業・行政との協働・連携による地域活性化活動や公共的サービス提供に資する情報システムの調査・研究事業

2. 事業概要と成果

■28年度調査・研究事業として、地域情報化についての先進事例として下記の2件の視察を実施し、情報化に関する特徴的な取り組み・施策についての分析を行った。

① 埼玉県川越地区視察「川越セッション」(7/21)

川越地区にある「小江戸・川越」及び、サイボクハムを視察し、地方創生(地域活性化)とは何か?について、現地視察と検証を行った。セッション・ファシリテーターには、東京国際大学矢澤則彦教授にお願いした。

② 新潟県佐渡地区視察「佐渡セッション」(10/27・28)

新潟県佐渡地区の行政機関(新潟県佐渡地域振興局殿)及び、地元企業(内藤電誠工業殿)を訪問し、佐渡活性化に向けた様々な取り組みについて話を伺い、意見交換の場を設けた。また、世界遺産候補である「史跡 佐渡金山」をはじめとするいくつかの観光名所を巡り、観光産業活性化の取り組みを視察した。

